



# 泗水小だより

学校教育目標「自ら考え なかまと高め合う 泗水小」



泗水小学校  
学校だより No37  
文責 芹川博文  
2月9日(金)

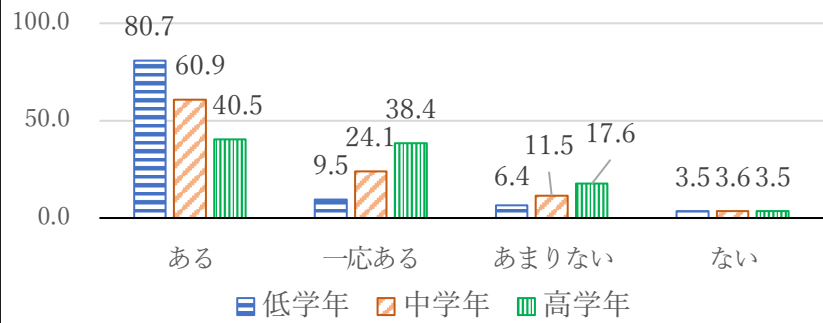
## 将来の夢「ある」 低学年8割、中学年6割、高学年4割 !?

～ 県学力調査アンケート (i-check シート) の結果から ～

先日、熊本県及び菊池市の学力検査の結果が返ってきました。本校の1～6年全体としては、大方県平均を上回っていました。個人の結果につきましては、2月22日(木)の授業参観後の懇談会で配布する予定です。今後子どもたちに必要な学力を育めるよう努めて参ります。

その時に取られたアンケートの中の「将来の夢」について紹介させていただきます。「ある」と答えた割合が、低学年8割、中学年6割、高学年4割。ここまできれいに(?)差がつくとは思いませんでした。高学年になると「現実の壁」を感じるのか。周りに「あんな人になりたい」と目標とする人がいないのか。そんなことを考える余裕さえないのか・・・。「一応ある」を入れると約8～9割にはなるものの気になる結果です。さらに、「ない」と回答した3.5%の子どもたちのこと。「あんな人になりたい」「こんなことがしたい」という夢(目標)、「見つける」ものではなく、「見えてくる」ものかもしれません。

大きくなったら、あんな人になりたい、こんなことがしたいという夢がありますか



## VUCA (ブーカ) の時代を生きる

～ 予測困難な時代を生きる力とは? ～

「VUCA(ブーカ)時代」という言葉を耳にした方もおられるかと思えます。

先の見通しが立ちにくく不安定な時代ということかと思えます。「正解」のない問題に立ち向かう時代とも言えます。

私が小学生の頃は、「何で勉強するんですか」と先生に聞くと、「いらんこつ考えんでよか!」と返ってくるような時代でした。約50年前、まだ各家には電話もなく、宿題のページが分からないときは懐中電灯を持って真っ暗な道(アスファルトでない砂利道)を歩いて、近くの同級生の家に聞きに行っていたのを覚えています。時代的にも「物質的な豊かさ」を求めて日本全体が同じ方向に突き進んでいた時だったのかもしれませんが。

そして現在。便利なものは次々と開発されました。一方で、これまでの「当たり前」を問い直す場面に直面しています。新型コロナウイルスの流行で、外に出ない、人と会わない・話さないことを約4年続けました。熱中症対策として、エアコンをつけっぱなしにしておく、外出を控えるなどの対応。誰がこの状況を予想したことでしょう。

そんな予測困難な VUCA (ブーカ) の時代。しかし、考え方を変えると「今こそ、力を合わせて複雑な課題を乗り越えていく時」であり、やるべきことは見ようと思えば見えてきます。「気づく目」が、目標を浮き出させるかもしれません。

- Volatility (変動性)
- Uncertainty (不確実性)
- Complexity (複雑性)
- Ambiguity (曖昧性)

## 「パッと光がさした気がしました」

～ 輪島市災害派遣の松永先生から ～

「学校に子どもが戻ってくると、パッと光がさした気がしました」輪島市での任務を終えられた松永先生の言葉と送られてきた新聞です。

下の「北國新聞」の見出しにも「友達と思いっきり遊ぶ」とあります。再開した学校は小学校ではなく高校の校舎であっても、子どもたちにとって、友だちと集まり一日を過ごすという場がいかに大切なのか伝わってきます。

## 輪島 登校再開に笑顔

小中7校 高校校舎に



**「友達と思いっきり遊ぶ」**

輪島市では、2月6日(火)から7日(水)にかけて、市内の小中7校と高校校舎に、約1,000人の児童生徒が登校し、授業や行事が行われました。再開した学校は小学校ではなく高校の校舎であっても、子どもたちにとって、友だちと集まり一日を過ごすという場がいかに大切なのか伝わってきます。

輪島朝市  
輪島市では、2月6日(火)から7日(水)にかけて、市内の小中7校と高校校舎に、約1,000人の児童生徒が登校し、授業や行事が行われました。再開した学校は小学校ではなく高校の校舎であっても、子どもたちにとって、友だちと集まり一日を過ごすという場がいかに大切なのか伝わってきます。

**北國新聞**

夕刊

2024年(令和6年)2月6日(火)

北國新聞社  
〒960-8001 秋田県大館市大館1-1-1  
TEL: 0187-22-1111  
FAX: 0187-22-1112  
E-MAIL: kokuken@kokuken.co.jp  
http://www.kokuken.co.jp

あきさわ内科  
TEL: 0187-22-1111

そして、ここ泗水小。インフルエンザによる学級閉鎖が久しぶりにゼロになった今週末。どの教室からも、笑い声が響いていました。

